りょうかわ

学校だより　令和2年6月2日発行　第4号　新潟市立両川小学校

毎日の積み重ねが明るい未来を創っていく

校長　　中村　雅芳

昨日より，完全な形で学校が再開しました。昨年度末から数えると３か月ぶりの正常化に，子どもたちはもちろんですが，私たち教職員も胸をなで下ろしています。そして，友だち同士で，やや密になりながら？休み時間を笑顔で過ごしている子どもたちの様子を，嬉しく感じています。

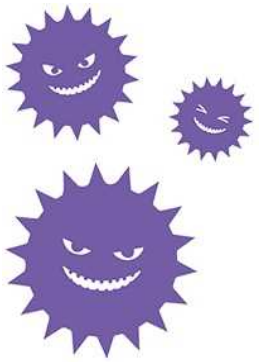
この３か月間の休校で感じたのは「普通であることのありがたさ」です。何事もなく，平凡に毎日を過ごしていけることが，どれだけ当たり前ではなかったのかを実感しました。この毎日を続けていけるように，新型コロナウィルスを正しく恐れ，できる限りの予防策を講じてまいります。保護者の皆様におかれましても，先日のお便りの通り，毎朝の検温と，心身含めた子どもの体調管理をくれぐれもお願いいたします。

さらに，今年度が始まってからの休校分２３日間を取り戻すために，授業日，学習内容，学校行事等を変更して進めていくことも，先日のお便りでお伝えしたとおりです。夏休みを短縮したことで地域のお祭りにご迷惑をおかけしたり，運動会を縮小することで地域行事としての側面を担えなくなったり，文化祭を小・中別日に開催することで二度手間をおかけすることになったりと，心苦しいことばかりですが，子どもたちの学習の遅れを一日も早く取り戻すために，どうかご理解とご協力をお願いいたします。

ところで，私自身が新型コロナウィルスを正しく恐れるために，毎日の新聞，テレビ番組などから情報を細かく得ています。情報を得れば得るほど，新型コロナウィルスの姿は捉えきれず，疑心暗鬼になっていく自分に危険を感じています。

そんな折に，世間でも話題になっている９年前の映画『コンテイジョン』をＤＶＤで視聴しました。そして，本当に怖いのは人間の「恐怖という感情そのもの」だということを学びました。映画のあらすじは，次の通りです。

香港で，謎のウィルス感染が発生。現地の人々はおろか，香港からアメリカ・イギリス・日本に帰国した人々が一斉に体調を崩し，数日後に死亡する。その後も，ウィルスは驚異的なスピードで世界に飛散。米国疾病予防管理センター（ＣＤＣ）や世界保健機関（ＷＨＯ）は治療法を探るが，原因の究明とワクチンの開発は困難を極め，その間にも感染者は爆増。さらに著名ブロガーが陰謀論を訴え，不確かな治療法を流布することで，各地で買い占めや暴動が頻発。世界は未曽有の危機に陥っていく。



この映画を視聴したからといって，新型コロナウィルスへの予防策を得られるわけではありません。しかし，それでもこの映画のおかげで，今後起こりうるリスクを予想でき，「このような冷静さを欠く行動は慎もう」と，今後の自分の行動を客観視し，自制することができるようになると感じました。映画『コンテイジョン』の視聴をお薦めします（小学生は刺激が強いのでダメです)。

最後に，５年生の２人が，新型コロナウィルス禍への思いをとても素敵な詩で表現してくれましたので，紹介します。疑心暗鬼に陥っていた自分の心が，２人の優しさで溶けていくように感じました。明るい未来を信じて，世界中でスクラムを組んで，力強く進んでいこうと心から思いました。堀川結衣さん，大野彩花さん，本当にありがとう！

今の世界　　堀川　結衣

今の世界はラグビーだ
敵がコロナで
味方は世界の
人々

今は世界がワンチーム
コロナは小さくて強い
でも私たちも負けずに強い
今は少し
世界のみんなが勝っている

私たちの祖先も
いろんなことを乗り越えてきた
だから
私たちでも乗り越えられる

私はまだ信じている
神様は
私たちに超えられない試練は
与えない
ということを

明るい未来が待っている
大野　彩花

密閉・密集・密接を避ける
これを守れば
明るい未来が待っている

マスクをつけて
おうちで遊べば
コロナが落ち着くかも

手洗い、うがい、消毒をすれば
元気いっぱい
コロナにも負けない

つらいけど乗り越えられる

だって、
明るい未来が待っているから